

## HP OpenVMS for Integrity Servers

---

# アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V1000 リリース・ノート

2015年2月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I\_UPDATE-V1000 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

---

© 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HP and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HP nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HP products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

#### DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HP BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HP OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I\_UPDATE-V1000 ECO Cover Letter』と各パッチキットのリリース・ノートの情報を元に作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 キットの概要</b>	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストレーションの必要性	1-1
1.3.2 リブートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-2
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-3
<b>2 インストレーションに関する注意事項</b>	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストレーションのためのコマンド	2-1
2.4 インストレーション時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-3
<b>3 VMS84I_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題</b>	
3.1 新機能	3-1
3.1.1 異なるドメインのユーザーを認証する機能	3-1
3.2 解決される問題	3-2
3.2.1 SPC-4 の HDD/SSD が正常に接続されていても、OpenVMS で "offline" と認識されてしまう問題	3-2
3.2.2 論理名 DECC\$TERM_REC_CRLF が定義されている場合、FTN (Fortran single carriage-control format) ファイルの 1 行目がブランク行となる問題	3-3
3.2.3 IA64 プラットフォームで NAMESER_COMPAT.H を使っているアプリケーションが "Undefined or invalid BYTE_ORDER" エラーになる問題	3-3
3.2.4 論理名 DECC\$ACL_ACCESS_CHECK が定義されている場合、access() にディレクトリを指定できない問題	3-4
3.2.5 lstat() にシンボリック・リンクを指定できない問題	3-4

3.2.6	setenv()でデフォルト環境変数の再設定ができない問題	3-4
3.2.7	vfork()とexecve()がDCLコマンド・プロシージャを実行できない問題	3-5
3.2.8	共有メモリAPI shmat()でアタッチアドレスにデタッチしたアドレスを与えるとEINVALエラーとなる問題	3-5
3.2.9	rmdir()がエラーになった場合に、ディレクトリのファイル保護を変更する問題	3-5
3.2.10	Fortran Carriage Control フォーマットファイルの可変長レコードと Print Carriage Control フォーマットファイルのVFCレコードがCIFSを通してPCで正しく表示されない問題	3-6
3.2.11	相対パスを使用するとdecc\$to_vms()とglob()はワイルドカードが正しく処理できない問題	3-6
3.2.12	lstat()が、ディレクトリを指しているシンボリックリンクに対して参照ディレクトリの情報を返す問題	3-7
3.2.13	fread()が正しくない結果を返す問題	3-7
3.2.14	wait 付きシステムサービスでイベントフラグ"0"の代わりにEFNSC_ENFを使用	3-7
3.2.15	isnormal()を使用しているC/C++のプログラムがIEEEモードでコンパイルできない問題	3-8
3.2.16	クローズされたファイルに対してferror()、clearerr()、およびfeof()を使うとACCVIOになる問題	3-8
3.2.17	UN.HヘッダーファイルがTCP/IP 5.7 ECO2のUnix Domain Sockets機能をサポート	3-8
3.2.18	shmget()がキーにIPC_PRIVATEを使えない問題	3-9
3.2.19	DECdtm サービスを使っているアプリケーションで"%SYSTEM-F-ARG_GTR_32_BITS"エラーが出る問題	3-9
3.2.20	TP_SERVER プロセスによるシステムハング	3-10
3.2.21	SANからのブート時にI/Oデータベースの不整合によるシステムクラッシュ	3-10
3.2.22	HP 3PAR ディスクのイニシャライズ時に"%INIT-F-MEDOFL"エラーが出る問題	3-10
3.2.23	ユーザー認証にACME LDAPを使うと、ログインセッションがタイムアウトする問題	3-11
3.2.24	SYSMANのDISKQUOTA SHOWコマンドで"SYSTEM-F-NOIOCHAN"エラーが出る問題	3-11
3.2.25	SYSMANでエラーメッセージが出ない問題	3-12
3.2.26	SYSMANがメッセージの表示なく長いコマンドを切りすてる問題	3-12
3.2.27	SYSMANINI論理名が定義されている場合のSYSMANのクラッシュ	3-13
3.2.28	RMSにおけるアラインメントフォールト	3-14
3.2.29	NFSディスクでのRMSディレクトリパスキャッシュの問題	3-15
3.2.30	ファイルへのレコード書き出し中に、プロセスが消える問題	3-15
3.2.31	FALでのアラインメントフォールト	3-16
3.2.32	CONVERTコマンドで"%CONVERT-F-INP_FILES"エラーが出る問題	3-16
3.2.33	DECnetプロキシを削除しようとする、セキュリティサーバーがリスタートする問題	3-16
3.2.34	リモートノードへのRUN/EXTENTの問題	3-18
3.2.35	MMGとPCB spinlocksによるCPUSPINWAITデッドロック	3-18
3.2.36	Mutexスラッシングの低減	3-18
3.2.37	ページプールlookasideリストの有効化	3-19
3.2.38	RMSグローバル・バッファの削除時のINCONMMGST bugcheckの問題	3-20
3.2.39	内部モード特別カーネルAST待ちのハング	3-20

3.2.40	rx2620 でクラッシュ・ダンプの書き込み後の再帰的な bugcheck . . . . .	3-21
3.2.41	プロセスが EXESCRMPSC_PFN_64 でループし、削除できない問題 . . .	3-21
3.2.42	プロセスの BYTCNT 待ちのハング . . . . .	3-22
3.2.43	周期的な時刻更新によるリアルタイムデータ収集の妨害 . . . . .	3-22
3.2.44	SYSGEN パラメータ DUMPSTYLE への新しいビットの追加 . . . . .	3-23
3.2.45	まれな INVSECURESTATE bugcheck によるシステム・クラッシュ . . .	3-24
3.2.46	フォーク処理でのタイム・スタンプの追加 . . . . .	3-24
3.2.47	シャドウイングされたシステムディスクからサテライトノードをブート する時の INCONSTATE bugcheck . . . . .	3-25
3.2.48	特定の条件で、XFC はクラスタ環境のファイルをキャッシュせず、性能 が低下する問題 . . . . .	3-25
3.2.49	XFC での "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でクラッ シュ . . . . .	3-27

#### 4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

##### A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧 . . . . .	1-3
-----	--------------------------------	-----



## 本書の目的

本書では、VMS84I\_UPDATE-V1000 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

## 対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

## 関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0600 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0800 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0900 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 xという表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Return</span>	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 文中のオプションの引数が省略されている。</li><li>• 前出の1つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li><li>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li></ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
( )	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか1つを選択しても、あるいは1つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[   ]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを1つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか1のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば <i>/PRODUCER=name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。



表記法	意味
数字	特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は, その旨を明記してあります。



---

## キットの概要

---

### 1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	323124 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	有
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V0900
依存する必須キット:	VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI アップデートキット)
オプションの依存キット:	無し

チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V1000.ZIPEXE Checksum: 1069017177
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1000--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 3168242517
VMS84I_UPDATE-V1000.ZIPEXE MD5 Checksum:
81731D73112D5092D89A8EB0FDC246E8
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1000--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
9235C99AD6650F020BCE625864962228
```

---

### 1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I\_UPDATE-V1000

---

### 1.3 キットの説明

#### 1.3.1 インストレーションの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストレーション・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情

## キットの概要

### 1.3 キットの説明

報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

#### 1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

#### 1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- OpenVMS for Integrity Servers V8.4

#### 1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新しいハードウェアはありません。

このアップデートキットでは以下の新機能をサポートします。

- 異なるドメインのユーザーを認証する機能 (第 3.1.1 項)

---

## 1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I\_UPDATE-V0900

---

## 1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット (あるいはそれ以降にリリースされた修正キット) をインストールしておく必要があります。

- VMS84I\_PCSI-V0400

## 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I\_UPDATE-V1000 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I\_UPDATE-V1000 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I\_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されいる場合、そのキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0200	
VMS84I_ACRTL-V0300	
VMS84I_BACKUP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_DCL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_DDTM-V0100	
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_ENCRYPT-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_F11X-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0600	
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_IVMSLOA-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_JOBCTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_LAN-V0300	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_LDAP-V0100	
VMS84I_LOADSS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MANAGE-V0100	
VMS84I_MIME-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MOUNT96-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MUP-V0500	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RAMDISK-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RMS-V0500	
VMS84I_SECSRV-V0100	
VMS84I_SHADOWING-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_SORT32-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)

(次ページに続く)

## キットの概要

### 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

表 1-1 (続き) 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されれている場合、そのキット名
VMS84I_SYS-V0400	
VMS84I_SYSLOA-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UAF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_USB-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_XFC-V0100	
VMS84I_XFC-V0200	

---

## インストールに関する注意事項

---

### 2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

---

### 2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V1000.ZIPEXE
```

---

### 2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用して行ってください。

```
PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE[/SOURCE=キットの場所]
```

## インストールに関する注意事項

### 2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE\_RECOVERY\_DATAオプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にした場合は、PRODUCT INSTALLコマンドで/NOSAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を使用します。/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE修飾子には、このキットが含まれているCDあるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALLと入力することにより参照できます。

---

## 2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が必要ないいくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだDCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リポートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- \*.\*\_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALLコマンドで/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、\*.\*\_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALLコマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャに追加してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V10.0 [/SOURCE=キットの場所]
```

- 割り当てられた論理名を再定義します。



VMS84I\_UPDATE-V1000 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
$!
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V10.0
$!
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT
$!
$ exit
$!
```

---

## 2.5 VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットには VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。



---

## VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題

この章では、VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットで提供されたパッチキットによる修正については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。

過去のアップデートキットのリリースノートについては、第4章を参照してください。

---

### 3.1 新機能

VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットにより提供される新機能を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該機能を提供するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

#### 3.1.1 異なるドメインのユーザーを認証する機能

キット名：VMS84I\_ACMELDAP-V0200

機能の説明：

OpenVMS ACMELDAP には、異なるドメインのユーザーを認証するための機能が追加されました。OpenVMS バージョン 8.4 以降の ACME LDAP エージェントで、異なるドメインからのログインが出来るように設定できます。この機能により、ひとつの組織の中で異なる場所や部門のユーザー（つまり異なるドメインで登録されているユーザー）が、自分のドメインをユーザー名の前に付けることによってログインすることができるようになります。

ログインユーザー名の例：

```
"AMERICAS\bwills"  
"EMEA\John Doe"  
"ASIAPACIFIC\Shaun Marsh"
```

この機能の詳細については、次の文書を参照してください：

- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT

関係するイメージ：

- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE
- [SYSEXEC]LDAP\_LOAD\_LOCALUSER\_DATABASE.EXE
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT
- [SYS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE
- [SYS\$STARTUP]LDAP\_LOCALUSER\_DATABASE.TXT\_TEMPLATE

この問題を報告している Quix および PTR ケース：

QXCM1001213280、75-126-235

---

## 3.2 解決される問題

VMS84I\_UPDATE-V1000 アップデートキットにより解決される問題を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該問題を解決するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

### 3.2.1 SPC-4 の HDD/SSD が正常に接続されていても、OpenVMS で "offline" と認識されてしまう問題

キット名：VMS84I\_UPDATE-V1000 (新規)

問題の説明：

Integrity サーバの SAS コントローラが HBA (Host Bus Adapter) モードの場合、SPC-4 の HDD (Hard Disk Drives) や SSD (Solid-State Drives) が物理デバイスとして見えていても使用することができません。

最新の SAS HDD/SSD は SPC-4 (SCSI Primary Command - 4) を使用していますが、OpenVMS はこれらのデバイスを正しく認識できず、"offline" としていました。

この問題を解決するため、Integrity サーバでの SPC-4 HDD/SSD のサポートが追加されました。

注意：SPC-4 の新機能は現在 OpenVMS で完全にサポートされているわけではありません。しかし、この修正により HBA モードの SAS コントローラ接続の SAS HDD/SSD が OpenVMS でサポートされます。また、RAID モードの SAS コントローラ接続の SPC-4 ディスクはこの修正がなくても OpenVMS で使用できます。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]SYS\$LIB\_C.TLB
- [SYSLIB]LIB.L32
- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001342701

### 3.2.2 論理名 DECC\$TERM\_REC\_CRLF が定義されている場合、FTN (Fortran single carriage-control format) ファイルの 1 行目がブランク行となる問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

論理名 DECC\$TERM\_REC\_CRLF が定義されている場合、FTN (Fortran single carriage-control format) ファイルのレコードの中の先頭文字が "space" であっても、最初のレコードの前に制御コード <CR><LF> がつかないように修正されます。FTN ファイルが CIFS を通して PC で見ると、このコードがあるために 1 行目がブランク行となり 2 行目から表示されていました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001240796

### 3.2.3 IA64 プラットフォームで NAMESER\_COMPAT.H を使っているアプリケーションが "Undefined or invalid BYTE\_ORDER" エラーになる問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

通常 BYTE\_ORDER はヘッダーファイル NAMESER\_COMPAT.H の中で定義されます。しかし、IA64 プラットフォーム向けに BYTE\_ORDER を定義するコードが欠落しています。このため、アプリケーションで "Undefined or invalid BYTE\_ORDER" エラーが発生していました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.4 論理名 DECC\$ACL\_ACCESS\_CHECK が定義されている場合、access()にディレクトリを指定できない問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

論理名 DECC\$ACL\_ACCESS\_CHECKが定義されている場合、CRTL access() API の第 1 パラメータにディレクトリを指定するとエラーになっていました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.5 lstat()にシンボリック・リンクを指定できない問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

CRTL lstat() API は入力ファイル指定がシンボリック・リンクの場合には、シンボリック・リンク自体の情報を返すはずですが、"no such file or directory"エラーとなっていました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.6 setenv()でデフォルト環境変数の再設定ができない問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

CRTL setenv() API で、デフォルト環境変数 HOME、TERM、PATH、USER の値を前のものより長い値に再設定する場合にエラーになることがありました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.7 vfork()と execve()が DCL コマンド・プロシージャを実行できない問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

与えられたパラメータの文字列の長さの合計が 262 バイトを越えている場合に、CRTL vfork()と execve()は、DCL コマンド・プロシージャの実行に失敗することがありました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.8 共有メモリ API shmat()でアタッチアドレスにデタッチしたアドレスを与えると EINVAL エラーとなる問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

CRTL 共有メモリ API shmat()は共有メモリセグメントを一度デタッチしたアドレスに再度アタッチすることはできません。アドレスが以前の shmat()から得られたものである場合でも、そのプロセスですでに同じアドレスが使用されていると判断され、EINVAL エラーとなります。一度デタッチしたアドレスに再度アタッチするために、論理名 DECC\$ALLOW\_SPECIFIC\_SHMADDR を導入しました。これを設定する必要があります。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE
- [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

### 3.2.9 rmdir()がエラーになった場合に、ディレクトリのファイル保護を変更する問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

問題の説明：

CRTL API rmdir()は、空でないディレクトリでエラーになった場合に、ファイル保護を変更したままになるという問題がありました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
なし。

3.2.10 Fortran Carriage Control フォーマットファイルの可変長レコードと Print Carriage Control フォーマットファイルの VFC レコードが CIFS を通じて PC で正しく表示されない問題

キット名： VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

論理名 DECC\$TERM\_REC\_CRLF が定義されていて、Fortran Carriage Control フォーマットファイルのレコードの中の先頭文字が "space" の場合、これまでの <CR><LF><Record> というデータが <Record><CR><LF> に修正されました。同じく先頭文字が "1" の場合、<LF><CR><FF><Record> というデータが <FF><Record><CR><LF> に修正されました。

また DECC\$TERM\_REC\_CRLF が定義されていて、Print Carriage Control フォーマットファイルのレコードの先頭が 0x8D で最後が 0x01 の場合、これまでの <CR><Record><LF> というデータが <Record><CR><LF> に修正されました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001264203、QXCM1001278644

3.2.11 相対パスを使用すると decc\$to\_vms() と glob() はワイルドカードが正しく処理できない問題

キット名： VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

相対パスを使用すると、CRTL の decc\$to\_vms() と glob() はワイルドカードが正しく処理できません。decc\$to\_vms() は、ファイルのディレクトリ階層が深い場合でも直下のディレクトリにあるとし、glob() は間違っただけのディレクトリパスを出力しました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE



この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
なし。

### 3.2.12 lstat()が、ディレクトリを指しているシンボリックリンクに対して参照ディレクトリの情報を返す問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

論理名DECC\$EFS\_CHARSETが1に設定されている場合、ディレクトリを指しているシンボリックリンクに対するlstat()は、シンボリックリンク自体の情報を返さずに、参照ディレクトリの情報を返しました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
なし。

### 3.2.13 fread()が正しくない結果を返す問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

CRTL API fread()が入カストリームから1バイトを読み出す前に、ungetc()で1バイトが入カストリームに戻されている場合には、fread()は正しくない結果を返していました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
なし。

### 3.2.14 wait 付きシステムサービスでイベントフラグ "0"の代わりに EFN\$C\_ENF を使用

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

OpenVMS CRTL は wait 付きシステムサービスを使う場合には、EFN パラメータ "0"を使っていました。これを EFN\$C\_ENF と IOSB ステータスブロックを使用するように変更しました。イベントフラグの競合をなくし、処理を効率的にするためです。詳しくは "HP OpenVMS Programming Concepts Manual"の "6.8.4 Using EFN\$C\_ENF Local Event Flag"の項を見てください。

VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE
- [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

3.2.15 isnormal()を使用している C/C++ のプログラムが IEEE モードでコンパイルできない問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

"isnormal()"マクロを使用している C および C++ のプログラムは、それぞれ '%CC-E-NOSEMI, Missing ";" と '%CXX-E-EXPSEMICOLON, expected a ";" エラーでコンパイルに失敗します。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

3.2.16 クローズされたファイルに対して ferror()、clearerr()、および feof()を使うと ACCVIO になる問題

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明 :

CRTL API の ferror()、clearerr()、および feof()はファイルを引数とします。これらの API にクローズされたファイル (ファイルポインタ NULL) を使うと、ACCVIO が発生しアプリケーションはクラッシュすることがあります。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
なし。

3.2.17 UN.H ヘッダーファイルが TCP/IP 5.7 ECO2 の Unix Domain Sockets 機能をサポート

キット名 : VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

TCP/IP 5.7 ECO2 では Unix Domain Sockets 機能が追加されました。この機能に関連するヘッダーファイル UN.H が DECC\$RTLDEF.TLB ヘッダーライブラリの中に含まれるようになりました。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

なし。

### 3.2.18 shmget()がキーに IPC\_PRIVATE を使えない問題

キット名：VMS84I\_ACRTL-V0300

問題の説明：

共用メモリ API shmget()はキーに IPC\_PRIVATE を使った場合、フラグに IPC\_CREAT が指定されていないとエラーになりました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE
- [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

なし。

### 3.2.19 DECdtm サービスを使っているアプリケーションで "%SYSTEM-F-ARG\_GTR\_32\_BITS"エラーが出る問題

キット名：VMS84I\_DDTM-V0100

問題の説明：

DECdtm のサービス \$GET\_DEFAULT\_TRANS() と \$SET\_DEFAULT\_TRANSW() を使っているアプリケーションはエラーになることがあります。変数の 1 つが正しく初期化されず、"%SYSTEM-F-ARG\_GTR\_32\_BITS"エラーが発生します。\$GETDTI()、\$GETDTIW()、\$SETDTI()、および \$SETDTIW() サービスを呼んでいる場合は、このエラーが発生することがあります。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001247628

### 3.2.20 TP\_SERVER プロセスによるシステムハング

キット名：VMS84I\_DDTM-V0100

問題の説明：

TP\_SERVER プロセスは高い IPL でのループを起こし、結果としてシステムハングが発生することがありました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001130403

### 3.2.21 SAN からのブート時に I/O データベースの不整合によるシステムクラッシュ

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0600

問題の説明：

特定の SAN 環境において SAN からのブート時に、DKDRIVER のファブリックリンク待ちがタイムアウトしてしまい、I/O データベースの不整合によりシステムクラッシュが発生することがありました。

クラッシュが発生する前に、以下のメッセージが繰り返しコンソールに表示されません。

```
%DK-W-PORT_WAIT, Waiting for port  
%DK-W-PORT_WAIT, Waiting for port
```

そしてシステムは I/O データベースの不整合によってクラッシュします。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001265691、QXCM1001292195

### 3.2.22 HP 3PAR ディスクのイニシャライズ時に "%INIT-F-MEDOFL" エラーが出る問題

キット名：VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0600

問題の説明：

HP 3PAR ディスクを OpenVMS ホストに接続し、最初のイニシャライズ時にオフラインエラーメッセージが出るがありました。

```
%INIT-F-MEDOFFL, medium is offline
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001311665

回避策：

メディアオフライン問題を解決するために、ディスクへの単一のパスを、プライマリおよびカレントとしてセットします。

### 3.2.23 ユーザー認証に ACME LDAP を使うと、ログインセッションがタイムアウトする問題

キット名：VMS84I\_LDAP-V0100

問題の説明：

ユーザー認証に SSL 対応 LDAP を使用する場合、SSL バッファが全部読まれずに ACME LDAP ログインセッションがタイムアウトしていました。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB] LDAP\$SSH.R.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001321693

### 3.2.24 SYSMAN の DISKQUOTA SHOW コマンドで "SYSTEM-F-NOIOCHAN" エラーが出る問題

キット名：VMS84I\_MANAGE-V0100

問題の説明：

存在しない UIC を指定した DISKQUOTA SHOW コマンドは、以下のように、"SMI-E-INVUIC" エラーとなります。

```
SYSMAN> DISKQUOTA SHOW [存在しないUIC]  
%SYSMAN-I-NODERR, error returned from node FDS08  
-SMI-E-INVUIC, invalid UIC specified
```

## VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.2 解決される問題

このコマンドが繰り返し実行され、繰り返しの数が CHANNELCNT システムパラメータの値を越えた場合、SYSMAN は "SYSTEM-F-NOIOCHAN"エラーで失敗します。

```
SYSMAN> DISKQUOTA SHOW [存在しないUIC]  
%SYSMAN-I-NODERR, error returned from node FDSD08  
-SYSTEM-F-NOIOCHAN, no I/O channel available
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE
- [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE
- [SYSEXE]SYSMAN.EXE
- [SYSEXE]SMISERVER.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001198007

#### 3.2.25 SYSMAN でエラーメッセージが出ない問題

キット名 : VMS84I\_MANAGE-V0100

問題の説明 :

SYSMAN で以下の場合にエラーメッセージが出ません。

1. RESERVED\_MEMORY\_EXTENDコマンドを/RAD修飾子なしで実行
2. IO CREATE\_WWIDコマンドによるデバイス名の作成がエラー

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE
- [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE
- [SYSEXE]SYSMAN.EXE
- [SYSEXE]SMISERVER.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001198066、QXCM1001202702

#### 3.2.26 SYSMAN がメッセージの表示なく長いコマンドを切りすてる問題

キット名 : VMS84I\_MANAGE-V0100

問題の説明：

SYSMAN プロンプトに入力された 255 バイトより長いコマンドは、ステータスメッセージの表示なしに切りすてられます。

例：

```
SYSMAN> do define/system lengthtest
"DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1]"
%SYSMAN-I-OUTPUT, command execution on node BANFF
%DCL-I-SUPERSEDE, previous value of LENGTHTEST has been superseded
SYSMAN> do sh log lengthtest
%SYSMAN-I-OUTPUT, command execution on node BANFF
"LENGTHTEST" = "DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TEST_DIRECTORY1],
DISK$12:[COMMON.INTDRV.ENG_IMAGES.TE" (LNM$SYSTEM_TABLE)
SYSMAN>
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE
- [SYSLIB]SMI\$SSHR.EXE
- [SYSEXE]SMISERVER.EXE
- [SYSEXE]SYSMAN.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001279879

### 3.2.27 SYSMANINI 論理名が定義されている場合の SYSMAN のクラッシュ

キット名：VMS84I\_MANAGE-V0100

問題の説明：

VMS84I\_SYS-V0400 または VMS84A\_SYS-V0400 をインストールした後に、有効な初期設定ファイルを論理名SYSMANINIに定義すると、その後の SYSMAN コマンドは以下のように、クラッシュします：

## VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.2 解決される問題

```
$TYPE SYS$LOGIN:SYSMANINI_FILE.COM
set profile/priv=all
$
$MCR SYSMAN
SYSMAN> SET ENVIRONMENT

%SYSTEM-F-ACCVIO, access violation, reason mask=04, virtual address=0000000020202020,
PC=000000000053792, PS=0000001B Improperly handled condition, image exit forced.
Signal arguments:  Number = 0000000000000005
Name   = 000000000000000C
        0000000000000004
        0000000020202020
        000000000053792
        000000000000001B

Register dump:
R0 = 0000000000000000 R1 = FFFFFFFF843C6A00 R2 = 0000000000000238
R3 = 0000000020202020 R4 = 000000007FFCF818 R5 = 000000007FFCF8B0
R6 = 0000000010000001 R7 = 0000000000000001 R8 = 000000000000000C
R9 = 0000000000000005 R10 = 0000000000000000 R11 = 0000000000107130
SP = 000000007ACF3900 TP = 000000007B4EE1C8 R14 = FFFFFFFF800EAB00
R15 = 000000000000000C R16 = 0000000000000004 R17 = 0000000020202020
R18 = 0000000000000000 R19 = FFFFFFFF800EA830 R20 = FFFFFFFF8034A570
R21 = 0000000000000003 R22 = 000000000053792 R23 = 0000000020202027
R24 = 0000000000000001 R25 = 0000000000000005 R26 = 00000000001F124
R27 = 000000007ACF383C R28 = 0000000000000040 R29 = 0000000000000001
R30 = 00000000001F128 R31 = 0000000000000003 PC = 000000000053792
BSP/STORE = 000007FDBFFD4740 / 000007FDBFFD4740 PSR = 0000141308026010
IIPA = FFFFFFFF800EA480
B0 = 0000000000537A0 B6 = FFFFFFFF8034A570 B7 = FFFFFFFF821B9510
Interrupted Frame RSE Backing Store, Size = 14 registers
R32 = 00000000001E3BC R33 = 000000000053EC0 R34 = C00000000000099B
R35 = 000000007FFCF818 R36 = 000000007FFCF8B0 R37 = 0000000010000001
R38 = 000000007ACF3870 R39 = 0000000000000007 R40 = 00000000001E3BC
R41 = 0000000000540E0 R42 = C00000000000099B R43 = 0000000002F0000
R44 = 0000000020202020 R45 = 0000000000000001
```

関係するイメージ：

- [SYSEXE]SYSMAN.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001319241

#### 3.2.28 RMS におけるアラインメントフォールト

キット名：VMS84I\_RMS-V0500

問題の説明：

一定の条件の下で、RMS の\$PARSE でアラインメントフォールトが発生します。

アラインメントフォールトは PC 値、RMS+01DC EE0 で見られます。この問題は修正されています。



関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE
- [SYSS\$LDR]RMS.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001264814

### 3.2.29 NFS ディスクでの RMS ディレクトリパスキャッシュの問題

キット名 : VMS84I\_RMS-V0500

問題の説明 :

NFS ディスクにおいて、サーバーノードもしくは NFS クライアントノードからディレクトリが削除された場合、以前にそのディレクトリにアクセスしたノードからのディレクトリ操作が失敗する事があります。

この問題は、NFS クライアントノードで RMS ディレクトリパスキャッシュを使用不可にすることによって解決されます。

NFS ディスクで RMS ディレクトリパスキャッシュを使用不可にするには、SYSGEN パラメータ RMSD1 のビット 1(値は 2)を設定します。例えば、SYSGEN paramter RMSD1 の現在の値が 0 であるならば、RMSD1 は 2 に設定します。値が 1 であるならば、RMSD1 は 3 に設定します。

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE
- [SYSS\$LDR]RMS.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001278472、QXCM1001256670

### 3.2.30 ファイルへのレコード書き出し中に、プロセスが消える問題

キット名 : VMS84I\_RMS-V0500

問題の説明 :

特定の条件で、1TB より大きいサイズのファイルにレコードを追加あるいは書きこむ場合、プロセスが削除されます。オペレータメッセージ "%RMS-F-BUG, fatal RMS condition (FFFFFFEF), process deleted" がコンソールに表示されます。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001319462、75-126-373

### 3.2.31 FAL でのアラインメントフォールト

キット名： VMS84I\_RMS-V0500

問題の説明：

V8.4 Itanium システムで以下のような操作により、 FAL でアラインメントフォールトが発生します。

```
$ DIRECTORY FOO"user password"::FOO:[*...]*.*;*/OUT=NL:
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXEC]FAL.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001310615

### 3.2.32 CONVERT コマンドで "%CONVERT-F-INP\_FILES"エラーが出る問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0500

問題の説明：

CONVERTコマンドにおいて、多くの二次キーを定義した FDL ファイルを /FDL修飾子で指定した場合、一定の条件で、 "%CONVERT-F-INP\_FILES"エラーが発生します。

例：

```
$ convert/nosort/fdl=FOO.FDL INPUT.DAT OUTPUT.DAT  
%CONVERT-F-INP_FILES, too many input files
```

FOO.FDL において 40 の二次キーを指定しています。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]CONVSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001324989、 75-126-375

### 3.2.33 DECnet プロキシを削除しようとする、セキュリティサーバーがリスタートする問題

キット名： VMS84I\_SECSRV-V0100

問題の説明：

AUTHORIZE ユーティリティでREMOVE/PROXYコマンドを使ってデフォルトプロキシではないDECnet プロキシを削除しようとする、セキュリティサーバーがリスタートし、プロキシは削除されません。

```
UAF> show/proxy devell::abcxyz
Default proxies are flagged with (D)

DEVEL1::ABCXYZ
ABCXYZ (D)                                SYSTEM

UAF> remo/proxy devell::abcxyz system
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:30.37 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-F-PROXYTERMINATED, an error caused proxy processing to terminate
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.38 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-CIASHUTDOWN, breakin detection and evasion processing is shutting down
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.68 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-SERVERRESTART, security server restarting
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.70 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-CIAEXISTCLU, security server using existing cluster intrusion database
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.70 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-PROXYSTARTINGUP, proxy processing now starting up
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.70 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-SERVERSTARTINGU, security server starting up
%%%%%%%% OPCOM 24-OCT-2013 15:34:33.70 %%%%%%%%%
Message from user SYSTEM on TEST10
%SECSRV-I-CIASTARTINGUP, breakin detection and evasion processing now starting up
%UAF-E-NAFREMERR, error removing proxy from DEVEL1::ABCXYZ to SYSTEM
-SECSRV-F-SRVREPLYTIMEOUT, timed out waiting for reply from security server
UAF>
UAF> show/proxy devell::abcxyz
Default proxies are flagged with (D)

DEVEL1::ABCXYZ
ABCXYZ (D)                                SYSTEM

UAF>
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSEXE]SECURITY\_SERVER.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001318555

### 3.2.34 リモートノードへの RUN/EXTENT の問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

ユーザーがリモートノードの上のイメージを動かす時に、/EXTENT 修飾子で渡される WSEXTENT の値が有効になりません。例えば、ユーザーが以下のコマンドを実行する時に、入力値が正当な範囲であっても、実際の WSEXTENT 値は入力値と同じになりません。

```
$ RUN <image> /EXTENT = <wsextent_value> /ON = <remote_node>
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001239289

### 3.2.35 MMG と PCB spinlocks による CPUSPINWAIT デッドロック

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

マルチスレッドプロセスのページフォールトでノンページプール変数リストと 64 バイト lookaside リストが枯渇した場合、MMG と per PCB spinlock に関係し、CPUSPINWAIT デッドロックによる bugcheck が起こる場合があります。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1000828776、QXCM1001242216、QXCM1001307634、75-74-378

回避策：

不足がないように、適当なノンページプールを提供します。

### 3.2.36 Mutex スラッシングの低減

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

多数のプロセスが書き込みアクセスのために、同時に同じ mutex を取得しようとする場合、スラッシングが CPU 時間を消費して、システム全体の性能を低下させます。このようなスラッシングを低減します。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
75-74-398

### 3.2.37 ページプール lookaside リストの有効化

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

この修正では、Paged dynamic pool variable freelist のフラグメンテーションを減らし、ページプールの割り当てと割り当て解除の性能改善のため、ページプール lookaside リストをデフォルトで有効にします。

SYSGEN パラメータ PAGED\_LAL\_SIZE のデフォルト値は 0 から 512 バイトに変更されました。512 バイト以下のパケットは lookaside リストから取得されます。より大きなパケットは、引き続き Paged dynamic pool variable freelist から取得されます。PAGED\_LAL\_SIZE を 0 に設定する事により、Paged dynamic pool lookaside リストを使用しないようにできます。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$BASE\_IMAGE.EXE
- [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE
- [SYSEXEC]SYSGEN.EXE
- [SYSEXEC]SYSBOOT.EXE
- [SYSEXEC]SYSMAN.EXE
- [SYSEXEC]SMISERVER.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
75-74-330

回避策：

SYSGEN パラメータ PAGED\_LAL\_SIZE を新しい値に変更します。

### 3.2.38 RMS グローバル・バッファの削除時の INCONMMGST bugcheck の問題

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

RMS グローバル・バッファの削除時に MMGS\$FIND\_GSTE において INCONMMGST bugcheck が起こることがまれにありました。

この問題は再現可能ではなく、現時点で説明されていません。それが解析され対応されるまで、修正イメージにより問題が回避できます。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001108110、QXCM1001152913、QXCM1001209305、  
QXCM1001247907、QXCM1001261385、QXCM1001264869、  
QXCM1001271968、QXCM1001272536、QXCM1001278413、75-13-2520

回避策：

1つのファイルが bugcheck を引き起こしているならば、RMS グローバルバッファをそのファイルから取り除きます。

### 3.2.39 内部モード特別カーネル AST 待ちのハング

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

まれなタイミングの問題で、内部モードの特別カーネル AST がキューイングされたまま処理されないことがあります。プロセスがロックしているものによって、プロセス、システム、あるいはクラスタのハングを起こします。この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

QXCM1001287896、QXCM1001019926、QXCM1000956271、75-13-2368

回避策 :

別のカーネルモード AST をプロセスに周期的に提供することで開放する事が可能です。例えば、SDA に入りプロセスチャンネルのリストを得るなどです :

```
$ ANALYZE/SYSTEM
SDA> SET OUTPUT NL:
SDA> SHOW PROCESS/CHANNEL ALL
SDA> EXIT
```

### 3.2.40 rx2620 でクラッシュ・ダンプの書き込み後の再帰的な bugcheck

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

システムファームウェア v4.29 を持つ rx2620 で、シャットダウンの最終段階で再帰的な bugcheck が起こり、システムハングになることがあります。この問題は、クラッシュ・ダンプがディスクに書き込まれた後に発生します。

問題が起こる時、以下のメッセージがコンソールに表示されます :

```
**** Recursive bugcheck after system halted.
**** Use console to reset system.
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE
- [SYSSLDR]EXCEPTION.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

QXCM1001149674

### 3.2.41 プロセスが EXE\$CRMPSC\_PFN\_64 でループし、削除できない問題

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

プロセスが既存の PFN マップセクションをオーバーレイして、かつダイレクト I/O を行っている時に、EXE\$CRMPSC\_PFN\_64 でループすることがあります。ループしているプロセスは停止や削除ができません。この問題は修正イメージにより回避されます。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

QXCM1001082239、QXCM1001171119、QXCM1001230187、75-120-149

### 3.2.42 プロセスの BYTCNT 待ちのハング

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

AST の実行要求をブロックする IPL で、プロセスがバイトカウントクォータ待ちでハングすることがあります。AST の実行要求のブロックにより、I/O 完了後にプロセスにそのバイトカウントクォータを渡す正常なメカニズムもブロックします。プロセスがファイルシステムロックを保持している場合は、ノードまたはクラスタのハングを起こします。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

QXCM1001243088

回避策 :

この潜在的問題を避けるため、BYTLM が不足しないよう、プロセスに十分な BYTLM を設定します。

### 3.2.43 周期的な時刻更新によるリアルタイムデータ収集の妨害

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

停電やシャットダウンがあった場合にも正確な時刻を維持するために、OpenVMS は 1 日に 4 回ハードウェアクロックを更新します。6 時間ごとに、ハードウェアクロックは現在のシステム時間、EXESGQ\_SYSTIME と同期します。いくつかの古い Integrity システム (rx2600 など) 上で、この更新は 20 ~ 30 ミリ秒かかります。

クロックが更新されるたびに高い IPL で動作するため、システムがリアルタイムデータを収集している場合、データ欠損が生じることがあります。



この問題を避けるために、OpenVMS は現在、動的 SYSGEN パラメータ TIME\_CONTROL の値で周期的な時刻更新をコントロールできます。未使用であった 2 つのビット (3 & 4) がこのために使われています。ビット 3 とビット 4 の設定により、Integrity マシンは次の通りにハードウェアクロックを更新します (2 進表示) :

00xxx - 6時間毎に更新する(現在のデフォルト動作)(値0加算)  
01xxx - 24時間毎に更新する(TIME\_CONTROL値が8加算)  
10xxx - 30日毎に更新する(値が16加算)  
11xxx - 更新しない(値が24加算)

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001267791

### 3.2.44 SYSGEN パラメータ DUMPSTYLE への新しいビットの追加

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

SYSDUMP ファイルにメモリーのどのエリアが書き出されるかをコントロールするために、修正イメージでは、SYSGEN パラメータ DUMPSTYLE に 2 つのビットが追加されます。OpenVMS エンジニアリングは、現在これらのビットの利用を勧めませんが、特別な状況では有益な場合があります。

- DUMPSTYLE のビット 5、KEY\_ONLY : システム空間、アクティブなグローバルページ、および現在のプロセスだけをダンプする。
- DUMPSTYLE のビット 6、SKIP\_S2 : S2 システム空間をダンプしない。このビットが設定されると、XFC データ、ロックマネジャーダイナミックメモリー、RMS バッファ、システムの診断バッファ (例えば:TR バッファ) などの S2 スペースにあるものは何もダンプファイルに書き出されません。それらなしでのダンプの解析は確定的でないものになります。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]EXCEPTION.EXE
- [SYS\$LDR]EXCEPTION.STB
- [SYS\$LDR]EXCEPTION\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE

VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

- [SYSS\$LDR]SYSS\$BASE\_IMAGE.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001290315

### 3.2.45 まれな INVSECURESTATE bugcheck によるシステム・クラッシュ

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

2重に割り当て解除されプールに戻された RIGHTSLIST によるノンページプール lookaside リストの破損により、以下のような INVSECURESTATE bugcheck でシステムがクラッシュします。

Crashdump Summary Information:

-----

Crash Time: 16-APR-2013 06:00:51.49  
Bugcheck Type: INVSECURESTATE, Invalid state detected by SECURITY subsystem  
Node: NODE (Cluster)  
CPU Type: HP BL870c i2 (1.73GHz/6.0MB)  
VMS Version: V8.4  
Current Process: <ユーザプロセス>  
Current Image: <ユーザ指定の実行イメージ>  
Failing PC: FFFFFFFF.80B44BD0 NSA\$FREE\_RIGHTS\_CHAIN\_C+00110  
Failing PS: 00000000.00000000  
Module: SECURITY (Link Date/Time: 3-SEP-2010 12:46:51.96)  
Offset: 0002C4D0

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SECURITY.EXE
- [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SECURITY.STB
- [SYSS\$LDR]SECURITY\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001278957

### 3.2.46 フォーク処理でのタイム・スタンプの追加

キット名：VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明：

CPUSPINWAIT bugcheck における問題の解析の支援のため、修正イメージではフォークブロックの処理時に、解析用タイム・スタンプが追加されます。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
75-74-312

### 3.2.47 シャドウイングされたシステムディスクからサテライトノードをブートする時の INCONSTATE bugcheck

キット名 : VMS84I\_SYS-V0400

問題の説明 :

BITMAP.SYS ファイルが ACE/ACL セットを持っているシャドウイングされたシステムディスクから、Itanium サテライトノードがブートする場合、INCONSTATE bugcheck が SYS\$VM+01E510 周辺で発生し、ブートが失敗することがありました。この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001259876

回避策 :

障害は BITMAP.SYS ファイルの ACE/ACL をクリアすることによって避けることができます。ファイル BITMAP.SYS のすべての ACLs を削除するためには、次のコマンドを使ってください :

```
$ SET SECURITY/ACL/DELETE SYS$SYSDEVICE:[000000]BITMAP.SYS
```

### 3.2.48 特定の条件で、XFC はクラスタ環境のファイルをキャッシュせず、性能が低下する問題

キット名 : VMS84I\_XFC-V0100

問題の説明 :

特定の条件で、拡張ファイルキャッシュ (XFC) は、ファイルのキャッシュを停止することがあります。するとファイル対応メモリ・キャッシュを使用するかわりに、すべての I/O が直接ディスク上のファイルに対しておこなわれ、そのファイルを使う時に、性能が低下します。

## VMS84I\_UPDATE-V1000 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.2 解決される問題

この状態が発生する、2つの条件が考えられます: 1つのクラスタノードが頻繁にファイルを読み書きします。別のノードは同じファイルを開き、以下のいずれかを行います。

- 1) 書き込みを1回行い、その後読み書きを行わず、ファイルを開いたままにする。
- 2) ファイルを開くままにして、まれに読み出しを行う。

この問題は修正されています。この修正はデフォルトで有効ではありません。修正を有効にするには、SYSGEN パラメータ SCHED\_FLAGS を使う必要があります。有効にするために、SYSGEN で SCHED\_FLAGS のビット 4(値は 16) を設定してください:

```
$ MC SYSGEN
SYSGEN> USE CURRENT
SYSGEN> SET SCHED_FLAGS 16
SYSGEN> WRITE CURRENT
```

この SCHED\_FLAGS の設定はリブート後も有効です。

SCHED\_FLAGS におけるビット 4 が、設定される必要があります。これは、いつも SCHED\_FLAGS を 16 に設定する事を意味しているわけではありません。上の例は SCHED\_FLAGS が 0 に設定されていた時の場合です。

何らかの理由で SCHED\_FLAGS パラメータがすでに 1 に設定されているとします。その場合、SCHED\_FLAGS のビット 4 を設定するには、SCHED\_FLAGS が 17 の値に設定される必要があります。また、機能を無効にするには、SCHED\_FLAGS を 1 に戻します。

関係するイメージ:

- [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE.EXE
- [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE\_MON.STB
- [SYSLIB]XFC\$SSDA.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース:  
QXCM1000984348、75-13-2216

回避策:

回避策は、周期的にファイルを閉じてしまい、必要なときに再び開く、もしくはアクティブでない方のノードから頻繁にファイルの読み出し操作をすることです。XFC がファイルのロックを更新し、再びキャッシュを始めるためには、そのノードから少なくとも2つの読み出し I/O を必要とします。

### 3.2.49 XFC での "INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" でクラッシュ

キット名 : VMS84I\_XFC-V0200

問題の説明 :

一定の状況下で、最新の XFC パッチをインストールしたシステムで、  
"INVEXCEPTN, Exception while above ASTDEL" エラーによるクラッシュが起  
こる事があります。問題が認められるパッチは以下の通りです :

VMS84I\_XFC-V0100  
VMS83I\_XFC-V0400  
VMS831H1I\_XFC-V0300

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001344986、 QXCM1001338197



---

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I\_UPDATE-V1000 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、今回新たに含まれるパッチキットに関する情報を提供していますが、以前のアップデートキットにも含まれているパッチキットに関する情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_BACKUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DCL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DEBUG-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FORRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_JOBCTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOADSS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MIME-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MSCP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RAMDISK-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SORT32-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UAF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0500.RELEASE\_NOTES



- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0900.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_USB-V0100.RELEASE\_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次のコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V10.0 -  
[/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V10.0 -  
/SELECT=release_note_name[/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE\_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V10.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I\_UPDATE-V0600 ~ VMS84I\_UPDATE-V0900 の日本語リリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>



---

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]ACC.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ACC"  
イメージファイルID： "X-16"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:08:23.55  
イメージ・チェックサム： 28484EA0

- [SYSEXE]ACMELOGIN\_LOGINOUT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LOGINOUT"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:53:34.16  
イメージ・チェックサム： FE609706

- [SYSEXE]ACMELOGIN\_SETP0.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SETP0"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:54:30.43  
イメージ・チェックサム： 42BF2AD2

- [SYSEXE]ACME\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ACME\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-42"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.58  
イメージ・チェックサム： 65AB664B

- [SYSEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "AGEN\$FEEDBACK"  
イメージファイルID： "X-32"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:46.56  
イメージ・チェックサム： 3371A610

• [SYSEXE]AUDIT\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "AUDIT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.11  
イメージ・チェックサム： F21A75BC

• [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "AUTHORIZE"  
イメージファイルID： "X-32"  
イメージビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:29:04.25  
イメージ・チェックサム： F0AE134D

• [SYSEXE]BACKUP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUP"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:28:36.32  
イメージ・チェックサム： 8B354E95

• [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUPSHR"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージビルドID： "01000000088"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-OCT-2012 11:27:48.68  
イメージ・チェックサム： E8F78065

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COMPARE"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:59.35  
イメージ・チェックサム： 1CCCCAC3

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COPY"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:39.02  
イメージ・チェックサム： 7C0C5E6

• [SYSEXEC]CDDVD\$CP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$CP"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:10:22.25  
イメージ・チェックサム： D101AA6C

• [SYSMSG]CDDVD\$MSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$MSG"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 17:24:33.20  
イメージ・チェックサム： 33F0FBC8

• [SYSEXEC]CDU.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDU"  
イメージファイルID： "I01-11"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.42  
イメージ・チェックサム： 397B73B2

• [SYSMSG]CLIUTLMSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLIUTLMSG"  
イメージファイルID： "X-3"  
イメージビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:35:25.65  
イメージ・チェックサム： 7B9DF1AC

- [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージビルドID： "0100000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:18:46.91  
イメージ・チェックサム： 81DF87CB

- [SY\$SLDR]CNX\$DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CNX\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:47.78  
イメージ・チェックサム： 7323B449

- [SYSEXEXE]CONVERT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVERT"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:35.15  
イメージ・チェックサム： 29501629

- [SYSLIB]CONVSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVSHR"  
イメージファイルID： "X1-012"  
イメージビルドID： "0100000125"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-JAN-2014 12:34:24.82  
イメージ・チェックサム： 72C55201

- [SYSEXEXE]COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "COPY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.31  
イメージ・チェックサム： 46E9F9D

• [SYSLIB]DBG\$HA\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:31.81  
イメージ・チェックサム： F15DFC01

• [SYSLIB]DBG\$HA\_MAIN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_MAIN"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:27.88  
イメージ・チェックサム： 26E710E6

• [SYSEXE]DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:12.51  
イメージ・チェックサム： E58D00ED

• [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:15.06  
イメージ・チェックサム： 20F2A7EC

• [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:16.92  
イメージ・チェックサム： B549FCE7

• [SYSMMSG]DBGTBKMSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGTBKMSG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.10  
イメージ・チェックサム： 18D626C7

• [SYSLIB]DCE\$LIB\_SHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DCE\$LIB\_SHR"  
イメージファイルID： "DCE V3.2-100509"  
イメージビルドID： ""  
リンカーID： "Linker I02-17"  
リンク日時： 10-MAY-2010 02:54:11.62  
イメージ・チェックサム： 1E7AB502

• [SYSEXEXE]DCL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DCL"  
イメージファイルID： "X-55"  
イメージビルドID： "01000000086"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2012 12:39:40.87  
イメージ・チェックサム： 88EC702D

• [SYSLIB]DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:07.10  
イメージ・チェックサム： 243C847E

• [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:39.26  
イメージ・チェックサム： F52B8527

• [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSRVSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:01.54  
イメージ・チェックサム： E8516CBD

• [SYSLIB]DEBUGUISHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGUISHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.02  
イメージ・チェックサム： A088619A

• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$BASRTL"  
イメージファイルID： "V01-037"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:33:18.80  
イメージ・チェックサム： 75945AF4

• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$FORRTL"  
イメージファイルID： "V01-07.004"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-FEB-2012 12:58:49.90  
イメージ・チェックサム： AFAA15AA

• [SYSLIB]DEC\$SSH.R.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHR"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージビルドID： "0100000127"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-FEB-2014 13:26:38.13  
イメージ・チェックサム： 1B6520B5

- [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHRP"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージビルドID： "0100000127"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-FEB-2014 13:26:33.24  
イメージ・チェックサム： F898B815

- [SYSEXEC]DELETE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DELETE"  
イメージファイルID： "X-05"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.37  
イメージ・チェックサム： 101CEC7D

- [SYSEXEC]DIFF.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIFF"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.22  
イメージ・チェックサム： 2D361DA1

- [SYSEXEC]DIRECTORY.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIRECTORY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.48  
イメージ・チェックサム： 4AE1F8CB

- [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DPML\$SHR"  
イメージファイルID： "T01-018"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:15:22.89  
イメージ・チェックサム： B2865D89

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EDTSHR"  
イメージファイルID： "1-050"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:15:26.98  
イメージ・チェックサム： 28651612

• [SYSEXE]EFISBCFG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EFISBCFG"  
イメージファイルID： "X-43"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:54.84  
イメージ・チェックサム： 6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYP\$HR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYP\$HR"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージビルドID： "0100000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:30:31.13  
イメージ・チェックサム： F1A8341D

• [SYSEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$AUTH"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージビルドID： "0100000102"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2013 11:32:18.31  
イメージ・チェックサム： 9F234F4B

• [SYSM\$G]ENCRYPT\$\_MSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$\_MSG"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージビルドID： "0100000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:32.41  
イメージ・チェックサム： A147CE2E

- [SYSEXE]ERRFMT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRFMT"  
イメージファイルID： "X-22"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:37.32  
イメージ・チェックサム： 670DAF21

- [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRORLOG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.30  
イメージ・チェックサム： 4696DD8F

- [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:10.26  
イメージ・チェックサム： 73DA03CA

- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:14.43  
イメージ・チェックサム： 73DA03CA

- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EXEC\_INIT"  
イメージファイルID： "X-217"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-FEB-2012 17:02:59.42  
イメージ・チェックサム： B78E5364

• [SYSSLDR]F11BXQP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11BXQP"  
イメージファイルID： "XQP V84R\_RE CFI"  
イメージビルドID： "0100000083"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-AUG-2012 14:23:12.47  
イメージ・チェックサム： 459E6D83

• [SYSEXEXE]F11CACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11CACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:16.63  
イメージ・チェックサム： 858832A3

• [SYSEXEXE]F11DACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11DACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:17.63  
イメージ・チェックサム： 12EC70DC

• [SYSEXEXE]FAL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "FAL"  
イメージファイルID： "X-10"  
イメージビルドID： "0100000119"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 25-OCT-2013 18:28:10.62  
イメージ・チェックサム： 883D24AB

• [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:50.37  
イメージ・チェックサム： 5DD7CEA3

- [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$SDA"  
イメージファイルID： "X-8A1"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:51.09  
イメージ・チェックサム： 63800810

- [SYSLIB]I64\_CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:54.95  
イメージ・チェックサム： 8972E72D

- [SYSEXE]I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:13.42  
イメージ・チェックサム： D4EC58D6

- [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ICC\$SDA"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:17:47.51  
イメージ・チェックサム： 945326A5

- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IMAGE\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:12.68  
イメージ・チェックサム： 102AE8D0

• [SYSLIB]IMGDMP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IMGDMP"  
イメージファイルID： "X-72"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:09.05  
イメージ・チェックサム： C088596

• [SYSEXE]INDICTMENT\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INDICTMENT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:16.86  
イメージ・チェックサム： 3DA25BA

• [SYSEXE]INSTALL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INSTALL"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:25.51  
イメージ・チェックサム： E5727767

• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO\_CONFIG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$AVIO\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.35  
イメージ・チェックサム： 983985BC

• [SYSLIB]IOGEN\$CISS\_CONFIG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$CISS\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-10"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:56:32.36  
イメージ・チェックサム： 1A93E0A7

### • [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE\_CONFIG.EXE

#### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$FIBRE\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-39"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:49:45.45  
イメージ・チェックサム： DDEB4425

### • [SYSLIB]IOGEN\$ISA\_CONFIG.EXE

#### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$ISA\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-21"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:07:19.51  
イメージ・チェックサム： A82BC75

### • [SYSLIB]IOGEN\$SCSI\_CONFIG.EXE

#### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$SCSI\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.56  
イメージ・チェックサム： 58D28E83

### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.EXE

#### イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:44.91  
イメージ・チェックサム： 4014A1B9

### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:54.53  
イメージ・チェックサム： 64A9BC9D

• [SYSEXE]IPB.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージビルドID： "0100000073"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:44:42.63  
イメージ・チェックサム： 138D1C8

• [SYSEXE]IPB\_NOXDELTA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB\_NOXDELTA"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:42.13  
イメージ・チェックサム： 8E9E08DD

• [SYSEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "JBC\$JOB\_CONTROL"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000082"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-AUG-2012 13:49:47.73  
イメージ・チェックサム： 16861EF4

• [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LAN\$SDA"  
イメージファイルID： "X-64"  
イメージビルドID： "0100000094"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-DEC-2012 10:06:48.61  
イメージ・チェックサム： 9EB6A973

• [SYSEXE]LANACP.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "LANACP"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:09.46  
イメージ・チェックサム： 981E18DE

#### • [SYSEXE]LANCP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "LANCP"  
イメージファイルID： "X-92"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:06.62  
イメージ・チェックサム： E17E8D49

#### • [SYSLIB]LBRSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "LBRSHR"  
イメージファイルID： "I01-42"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:03:54.62  
イメージ・チェックサム： FCC80C2A

#### • [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "LCK\$SDA"  
イメージファイルID： "X-28"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:37.95  
イメージ・チェックサム： E9B49F54

#### • [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "LDAP\$SHR"  
イメージファイルID： "LDAP V2.0-05000"  
イメージビルドID： "0100000136"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-JUL-2014 17:15:11.73  
イメージ・チェックサム： A123C2A9

#### • [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESH.R.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR"  
イメージファイルID： "LDAP-STD V01.05"  
イメージビルドID： "0100700123"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-DEC-2013 19:32:25.94  
イメージ・チェックサム： 1CF58060

• [SYSEXE]LDAP\_LOAD\_LOCALUSER\_DATABASE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LDAP\_LOAD\_LOCALUSER\_DATABASE"  
イメージファイルID： "LDAPACME V01.01"  
イメージビルドID： "0100700123"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-DEC-2013 19:32:37.52  
イメージ・チェックサム： EEB6188B

• [SYSLIB]LIBOTS.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LIBOTS"  
イメージファイルID： "V1.0-1"  
イメージビルドID： "0100000100"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-FEB-2013 13:10:51.49  
イメージ・チェックサム： 87BBA7D9

• [SYSLIB]LIBRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LIBRTL"  
イメージファイルID： "X01-001"  
イメージビルドID： "0100000100"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-FEB-2013 13:10:51.88  
イメージ・チェックサム： 992B8504

• [SYSEXE]LMF.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LMF"  
イメージファイルID： "X-26"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:11.29  
イメージ・チェックサム： 405DCFD

• [SYS\$LDR]LNMS\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LNM\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:01.15  
イメージ・チェックサム： 5978A650

• [SYSLIB]LNM\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LNM\$SDA"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:08:52.91  
イメージ・チェックサム： 677D3AF6

• [SYSSLDR]LOCKING.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LOCKING"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:38.85  
イメージ・チェックサム： 7606F20E

• [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LOGICAL\_NAMES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:51.05  
イメージ・チェックサム： 45A4DBF

• [SYSEXEXE]LOGINOUT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LOGINOUT"  
イメージファイルID： "X-54"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:53:32.77  
イメージ・チェックサム： 78A5B7E

• [SYSEXEXE]MACRO.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "MACRO"  
イメージファイルID： "50-120-5-50F9M"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:12.29  
イメージ・チェックサム： 85290640

• [SYSEXE]MAIL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "MAIL"  
イメージファイルID： "V1.06"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:53.38  
イメージ・チェックサム： 7A9C36D0

• [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "MESSAGE\_ROUTINES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:47:00.72  
イメージ・チェックサム： 2E2247D9

• [SYSEXE]MIME.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "MIME"  
イメージファイルID： "V1.93"  
イメージビルドID： "0100000074"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-MAY-2012 13:19:40.01  
イメージ・チェックサム： 663A67EE

• [SYSEXE]MONITOR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "MONITOR"  
イメージファイルID： "X-26"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:23.93  
イメージ・チェックサム： AD6E966A

• [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "MOUNTSHR"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージビルドID： "0100000116"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-SEP-2013 17:17:37.80  
イメージ・チェックサム： C5546739

- [SYSEXE]MSA\$UTIL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "MSA\$UTIL"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-NOV-2012 18:02:54.39  
イメージ・チェックサム： 520CDF5

- [SYSSLDR]MSCP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "MSCP"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-JAN-2012 16:13:28.11  
イメージ・チェックサム： 6E66B3B1

- [SYSEXE]MTAAACP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "MTAAACP"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:58.55  
イメージ・チェックサム： 97B1EE3E

- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:12.34  
イメージ・チェックサム： AEBE3327

- [SYSEXE]OPCOM.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "OPCOM"  
イメージファイルID： "X-16"  
イメージビルドID： "0100000080"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:04:07.81  
イメージ・チェックサム： F3A17E70

• [SYSLIB]PE\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-23"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:40.77  
イメージ・チェックサム： AF74A4AB

• [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PKM\$SDA"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 6-JUL-2010 19:03:08.50  
イメージ・チェックサム： 7C814B0B

• [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PKR\$SDA"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-NOV-2012 18:02:56.14  
イメージ・チェックサム： E945AF58

• [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PRF\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:14.50  
イメージ・チェックサム： B95D9D6F

• [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PRF\$SDA"  
イメージファイルID： "X-27"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:12:03.64  
イメージ・チェックサム： 5A37FC1

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PROCESS\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:49.13  
イメージ・チェックサム： 2D5D83B3

- [SYSS\$LDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PROCESS\_MANAGEMENT\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:52.23  
イメージ・チェックサム： 249DF9C1

- [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PTHREAD\$DBGSHR"  
イメージファイルID： "V3.22-095"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:16:48.07  
イメージ・チェックサム： 7F892FAD

- [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PTHREAD\$RTL"  
イメージファイルID： "V3.22-095"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:16:47.68  
イメージ・チェックサム： FCE15062

- [SYSEXE]QMAN\$QUEUE\_MANAGER.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "QMAN\$QUEUE\_MANAGER"  
イメージファイルID： "X-3"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:09.01  
イメージ・チェックサム： DDA8CCED

• [SYSEXE]QUEMAN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "QUEMAN"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージビルドID： "0100000102"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2013 11:33:18.74  
イメージ・チェックサム： 39279152

• [SYSEXE]RECLAIM.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "RECLAIM"  
イメージファイルID： "X-6"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:36.50  
イメージ・チェックサム： 19AFE135

• [SYSEXE]RECOVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "RECOVER"  
イメージファイルID： "X01-03"  
イメージビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:50.50  
イメージ・チェックサム： 2EF02AAC

• [SYSSLDR]RMS.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "RMS"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000124"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-DEC-2013 14:20:30.32  
イメージ・チェックサム： A2AA88D4

• [SYSEXE]RMSREC\$SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "RMSREC\$SERVER"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージビルドID： "0100000096"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JAN-2013 11:46:53.10  
イメージ・チェックサム： 50A4A493

• [SYSEXE]SCACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SCACP"  
イメージファイルID： "X-38"  
イメージビルドID： "0100000080"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:03:57.49  
イメージ・チェックサム： CB492413

• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SDA\$SHARE"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:35.31  
イメージ・チェックサム： 923885A3

• [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SDARMS\$SHARE"  
イメージファイルID： "X-7"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:23.59  
イメージ・チェックサム： 386DE222

• [SYSEXE]SEARCH.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SEARCH"  
イメージファイルID： "X02-09"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:17:55.08  
イメージ・チェックサム： B6C7EED9

• [SYSLIB]SECURESHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURESHR"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージビルドID： "0100000081"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 27-JUL-2012 12:31:09.37  
イメージ・チェックサム： 647BB1DE

• [SYSLIB]SECURESHRP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURESHRP"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージビルドID： "0100000081"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 27-JUL-2012 12:31:08.05  
イメージ・チェックサム： AD77852C

• [SYSSLDR]SECURITY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURITY"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:08.39  
イメージ・チェックサム： 6A1C5EFE

• [SYSSLDR]SECURITY\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURITY\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:13.48  
イメージ・チェックサム： F257F663

• [SYSEXEC]SECURITY\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURITY\_SERVER"  
イメージファイルID： "DEC Ada V3.5"  
イメージビルドID： "0100000127"  
リンカーID： "Linker I02-38"  
リンク日時： 5-FEB-2014 18:44:35.82  
イメージ・チェックサム： 3A685627

• [SYSEXEC]SET.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SET"  
イメージファイルID： "X02-00"  
イメージビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:36:35.09  
イメージ・チェックサム： D9FAA0C1

- [SYSEXE]SETP0.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SETP0"  
イメージファイルID： "X-3K2"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:54:30.78  
イメージ・チェックサム： 215EB1E7

- [SYSEXE]SETSHOSERVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SETSHOSERVER"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:35:25.04  
イメージ・チェックサム： FCB8703F

- [SYSEXE]SETSHOSHADOW.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SETSHOSHADOW"  
イメージファイルID： "X-02"  
イメージビルドID： "0100000116"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-SEP-2013 17:22:12.11  
イメージ・チェックサム： F385B9E8

- [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHADOW\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:47.27  
イメージ・チェックサム： 6D515BCD

- [SYS\$LDR]SHELL16K.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL16K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:10.39  
イメージ・チェックサム： B1DC91B0

• [SYSSLDR]SHELL32K.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL32K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:13.44  
イメージ・チェックサム： 73F34B95

• [SYSSLDR]SHELL64K.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL64K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:15.75  
イメージ・チェックサム： E62635F8

• [SYSSLDR]SHELL8K.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL8K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:05.90  
イメージ・チェックサム： 5C0A23FF

• [SYSEXE]SHOW.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHOW"  
イメージファイルID： "X-8"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:19:28.98  
イメージ・チェックサム： 20FA83BE

• [SYSEXE]SHWCLSTR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHWCLSTR"  
イメージファイルID： "X-27"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:12.78  
イメージ・チェックサム： 3A7043B9

• [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMBSRVSHR"  
イメージファイルID： "X-6"  
イメージビルドID： "0100000102"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2013 11:31:21.86  
イメージ・チェックサム： 45E34BD3

• [SYSLIB]SMGSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMGSHR"  
イメージファイルID： "SMG\$ X1.0-001"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:56:20.10  
イメージ・チェックサム： 2DD21893

• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMI\$OBJSHR"  
イメージファイルID： "X40-A9"  
イメージビルドID： "0100000121"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-NOV-2013 13:45:35.16  
イメージ・チェックサム： 2014119F

• [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMI\$SHR"  
イメージファイルID： "X01-04"  
イメージビルドID： "0100000121"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-NOV-2013 13:45:32.71  
イメージ・チェックサム： 517CA5CD

• [SYSEXE]SMISERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMISERVER"  
イメージファイルID： "X01-15"  
イメージビルドID： "0100000121"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-NOV-2013 13:45:38.66  
イメージ・チェックサム： ABD0114D

• [SYSEXE]SMPUTIL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMPUTIL"  
イメージファイルID： "X-30"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:06.48  
イメージ・チェックサム： 4ECACE4

• [SYSEXE]SORTMERGE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SORTMERGE"  
イメージファイルID： "V08-014"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:22.07  
イメージ・チェックサム： 25CCC85E

• [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SORTSHR"  
イメージファイルID： "V08-013"  
イメージビルドID： "0100000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 13:58:52.15  
イメージ・チェックサム： 2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SPL\$SDA"  
イメージファイルID： "X-43"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:11:24.22  
イメージ・チェックサム： 1E5B7D4B

• [SYS\$LDR]SWIS\$DEBUG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SWIS\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:29.86  
イメージ・チェックサム： E4C99ED7

- [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SWIS\$SDA"  
イメージファイルID： "X-6"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:31.90  
イメージ・チェックサム： 524C27CD

- [SY\$SLDR]SY\$BASE\_IMAGE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SY\$BASE\_IMAGE"  
イメージファイルID： "IA64 XCFR-J2I"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:34:54.37  
イメージ・チェックサム： B56D23FF

- [SY\$SLDR]SY\$CLUSTER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SY\$CLUSTER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:05.01  
イメージ・チェックサム： 66CA2B53

- [SY\$SLDR]SY\$CLUSTER\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SY\$CLUSTER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:24.22  
イメージ・チェックサム： 234332F7

- [SY\$SLDR]SY\$CMDRIVER.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CMDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:55.59  
イメージ・チェックサム： C96897F

• [SYS\$LDR]SYS\$CTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.31  
イメージ・チェックサム： 53813CDB

• [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DADDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:29.03  
イメージ・チェックサム： 9A2553B8

• [SYS\$LDR]SYS\$DKBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DKBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:41.29  
イメージ・チェックサム： 7344110D

• [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DKDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000143"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 9-OCT-2014 15:27:36.55  
イメージ・チェックサム： A8E0F90F

• [SYS\$LDR]SYS\$DNDRIVER.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DNDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:36.29  
イメージ・チェックサム： 644C8CD6

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DQDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DQDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:18:57.12  
イメージ・チェックサム： F8BE3F77

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DZCDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DZCDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:46.35  
イメージ・チェックサム： ECE337BB

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:08.54  
イメージ・チェックサム： BB806079

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EI1000DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:36.84  
イメージ・チェックサム： 1A05CB74

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EI1000DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:37.30  
イメージ・チェックサム： 8853FD7

• [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-SEP-2010 16:28:07.44  
イメージ・チェックサム： 3EE9231A

• [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-SEP-2010 16:28:07.87  
イメージ・チェックサム： 86A65966

• [SYS\$LDR]SYS\$EIGBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIGBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:50:51.03  
イメージ・チェックサム： B66A8957

• [SYS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム： 2ACF2378

• [SYS\$LDR]SYS\$ER57711\_MON.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム： EB587791

- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW5700DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:35.75  
イメージ・チェックサム： 6DF5C2C1

- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW5700DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:36.25  
イメージ・チェックサム： 215277F3

- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム： 2ACF2378

- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム： EB587791

- [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EWXFRAMEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:17.81  
イメージ・チェックサム： 23C180CD

• [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EWXFRAMEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:18.20  
イメージ・チェックサム： B64AAFCD

• [SYS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$FGEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000098"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-FEB-2013 15:35:00.03  
イメージ・チェックサム： A0517CD8

• [SYS\$LDR]SYS\$GHDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GHDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-100903"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:59:16.70  
イメージ・チェックサム： 9D71158B

• [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GLDRIVERDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:47.42  
イメージ・チェックサム： E58D5824

• [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER\_MON.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GLDRIVERDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:50.51  
イメージ・チェックサム： DC02EB42

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GSPBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GSPBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:27.30  
イメージ・チェックサム： 8D292EB3

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GSPDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GSPDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:50.38  
イメージ・チェックサム： 8819DE61

#### • [SYS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HIDDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "01000000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:28.55  
イメージ・チェックサム： 16BEF158

#### • [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HUBDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "01000000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:30.33  
イメージ・チェックサム： 86E3F8C1

#### • [SYS\$LDR]SYS\$HWP0001.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HWP0001"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:27.37  
イメージ・チェックサム： 3083FF7

• [SYS\$LDR]SYS\$HWP0004.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HWP0004"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:30.81  
イメージ・チェックサム： BEFFC254

• [SYS\$LDR]SYS\$IKUDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IKUDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:16:07.43  
イメージ・チェックサム： 3D49C68C

• [SYS\$LDR]SYS\$IKXDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IKXDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:15:47.02  
イメージ・チェックサム： 8C69C757

• [SYS\$LDR]SYS\$IMUDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IMUDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:16:13.84  
イメージ・チェックサム： 9FF28778

• [SYS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IPC\_SERVICES"  
イメージファイルID： "V1.3-X03E-XCFR"  
イメージビルドID： "0100000115"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2013 15:22:32.40  
イメージ・チェックサム： FFAB881E

- [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$KBDDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:33.40  
イメージ・チェックサム： 5F935882

- [SYS\$LDR]SYS\$LAN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LAN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:42.86  
イメージ・チェックサム： C7EEB01

- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LAN\_CSMACD"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:44.68  
イメージ・チェックサム： 8CFF4488

- [SYS\$LDR]SYS\$LASTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LASTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 6-JUL-2010 19:02:07.00  
イメージ・チェックサム： EE4DD88B

- [SYS\$LDR]SYS\$LLDRIVER.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LLDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:08.84  
イメージ・チェックサム： 2F9ACFD8

• [SYS\$LDR]SYS\$MDDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$MDDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000074"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-MAY-2012 13:19:43.36  
イメージ・チェックサム： 1319C9AB

• [SYS\$LDR]SYS\$MKDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$MKDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:07.12  
イメージ・チェックサム： 178ABECA

• [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$OHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:36.05  
イメージ・チェックサム： 600DB6BD

• [SYS\$LDR]SYS\$PCIE\_SUPPORT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PCIE\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:53.70  
イメージ・チェックサム： BFFB6434

• [SYS\$LDR]SYS\$PCI\_SUPPORT.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PCI\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:20.78  
イメージ・チェックサム： DF096D31

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 14:02:12.16  
イメージ・チェックサム： F1398C6E

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 14:02:24.92  
イメージ・チェックサム： 13A68DEE

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PGADRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PGADRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-NOV-2012 18:02:43.37  
イメージ・チェックサム： A7BF9A35

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PGQBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PGQBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:48.71  
イメージ・チェックサム： A295000C

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PGQDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000098"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-FEB-2013 15:34:54.79  
イメージ・チェックサム： C6FEE403

• [SYS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKDDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 9-SEP-2011 13:36:15.09  
イメージ・チェックサム： B514E52C

• [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKMDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000098"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-FEB-2013 15:34:48.38  
イメージ・チェックサム： FB9A5329

• [SYS\$LDR]SYS\$PKRBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKRBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000073"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:44:43.99  
イメージ・チェックサム： B05474E1

• [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKRDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-NOV-2012 18:02:38.48  
イメージ・チェックサム： E322DA7

• [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKWDRIIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:51:10.63  
イメージ・チェックサム： D54F31DE

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PLATFORM\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージビルドID： "0100000115"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2013 15:22:31.30  
イメージ・チェックサム： 641EA930

#### • [SYSLIB]SYS\$SETBOOTSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SETBOOTSHR"  
イメージファイルID： "SB V6.0-1"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:19.00  
イメージ・チェックサム： 53D38BCD

#### • [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SHDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000116"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-SEP-2013 17:22:07.61  
イメージ・チェックサム： 41A8065B

#### • [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SRDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.96  
イメージ・チェックサム： 51BE4C5

#### • [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$TRANSACTION\_SERVICES"  
イメージファイルID： "V2.1-X035-XCFR"  
イメージビルドID： "0100000114"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-AUG-2013 12:29:33.65  
イメージ・チェックサム： 877D55D7

• [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$UGDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:09:08.68  
イメージ・チェックサム： A71A64C6

• [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$UHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:38.21  
イメージ・チェックサム： 70AD4BB8

• [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$USBDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000089"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-OCT-2012 17:14:31.87  
イメージ・チェックサム： AAD4A2E2

• [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$VLANDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000094"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-DEC-2012 10:06:28.03  
イメージ・チェックサム： A718E076

• [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$VM"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:28.25  
イメージ・チェックサム： 6CF1C692

- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$XFCACHE"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージビルドID： "0100000130"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-MAY-2014 14:14:11.69  
イメージ・チェックサム： 6D151B5D

- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$XFCACHE\_MON"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージビルドID： "0100000130"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-MAY-2014 14:14:22.70  
イメージ・チェックサム： E0CB74B5

- [SYSEXE]SYSBOOT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSBOOT"  
イメージファイルID： "X-154"  
イメージビルドID： "0100000111"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JUN-2013 10:39:11.71  
イメージ・チェックサム： 66AFDF80

- [SYSEXE]SYSGEN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSGEN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000111"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-JUN-2013 10:39:07.39  
イメージ・チェックサム： 23AD8BBC

- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSGETSYI"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:29.79  
イメージ・チェックサム： 73E9C6B1

• [SYSEXE]SYSINIT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSINIT"  
イメージファイルID： "X-128"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:00.32  
イメージ・チェックサム： 2527AE0E

• [SYSLDR]SYSLDR\_DYN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSLDR\_DYN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:31.51  
イメージ・チェックサム： 7DCF2B47

• [SYSEXE]SYSMAN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMAN"  
イメージファイルID： "X01-22"  
イメージビルドID： "0100000121"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 22-NOV-2013 13:45:37.22  
イメージ・チェックサム： A8F047B7

• [SYSMMSG]SYSMGTMSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMGTMSG"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:35:26.73  
イメージ・チェックサム： F5F818D0

• [SYSMMSG]SYSMMSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMSG"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージビルドID： "0100000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:03:48.70  
イメージ・チェックサム： 9CA105D3

#### • [SYSS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:51.90  
イメージ・チェックサム： 2CB6F89A

#### • [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_PRIMITIVES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:50.35  
イメージ・チェックサム： D8B8A2A

#### • [SYSS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000117"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 26-SEP-2013 14:38:55.87  
イメージ・チェックサム： 29DD9AD2

#### • [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:52.40  
イメージ・チェックサム： 161C2D6A

#### • [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:50.40  
イメージ・チェックサム： D14A8BAA

• [SYSSLDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:53.59  
イメージ・チェックサム： D6B3BD38

• [SYSSLDR]TR\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TR\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:28.03  
イメージ・チェックサム： 52C5C475

• [SYSLIB]TR\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TR\$SDA"  
イメージファイルID： "X-18"  
イメージビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:28.48  
イメージ・チェックサム： 581D8D55

• [SYSLIB]TRACE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TRACE"  
イメージファイルID： "V8.3-003"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:16:03.43  
イメージ・チェックサム： C71D9CD2

• [SYSEXE]TYPE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TYPE"  
イメージファイルID： "X-28"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:54.13  
イメージ・チェックサム： 33BD59CC

• [SYSTEST]UETINIT00.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "UETINIT00"  
イメージファイルID： "X-48"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:24.84  
イメージ・チェックサム： 87C4672D

• [SYSLIB]USB\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "USB\$SDA"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:27.10  
イメージ・チェックサム： BDAC4346

• [SYSEXE]VERIFY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VERIFY"  
イメージファイルID： "X-28"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:02.44  
イメージ・チェックサム： 351D0CC5

• [SYSLIB]VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM"  
イメージファイルID： "X-20"  
イメージビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:08.44  
イメージ・チェックサム： 2F17FA11

• [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMS\$VMS\_ACMESHR"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-38"  
リンク日時： 29-OCT-2012 14:37:17.25  
イメージ・チェックサム： 2BDD6483

- [SYSEXE]VMSHELP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMSHELP"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:20.35  
イメージ・チェックサム： E616A288

- [SYSLIB]XFC\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "XFC\$SDA"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージビルドID： "0100000110"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 29-MAY-2013 11:28:20.00  
イメージ・チェックサム： 48DB616D

- [SYSUPD]ACCOUNTIN.HLP
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT
- [SYSUPD]ACMELOGIN\_PREINSTAL\_UPGRADE.COM
- [SYSHLP]ACME\_DEV\_README.TXT
- [SYSUPD]ANALYZE.HLP
- [SYSUPD]AUTOGEN.COM
- [SYSUPD]AUTOGEN\_LM.COM
- [SYSUPD]BACKUP.CLD
- [SYSUPD]BACKUP.HLP
- [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB
- [SYSMGR]BOOT\_OPTIONS.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG\_LAN.COM
- [SYS\$LDR]CNX\$DEBUG.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSUPD]COPY.CLD
- [SYSUPD]CRTL.HLP
- [SYSLIB]CXXL\$ANSI\_DEF.TLB
- [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
- [SYSUPD]DCLDICT.HLP
- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB (updated by DECC\$RTLDEF.FOR\_RELEASE)
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_3DES.C
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.R32
- [SYSSLDR]ERRORLOG.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.STB
- [SYSSLDR]F11BXQP.STB
- [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL.COM
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.STB
- [SYSEXE]INS\_STARTUP.COM
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYSS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE

- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP\_EXAMPLE.C
- [SYSEXE]LDAP\_LOCALUSER\_DATABASE.TXT\_TEMPLATE
- [SYSLIB]LIB.L32
- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]LOCKING.STB
- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA\_UTIL\_HELP.HLB
- [SYSSLDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXE]PCSI\_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXE]PCSI\_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXE]PING.EFI
- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSSLDR]RMS.STB
- [SYSSLDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYSSLDR]SECURITY.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYS\$LDR]SECURITY\_MON.STB
- [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.STB
- [SYSEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF
- [SYSEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.TXT
- [SYS\$LDR]SHELL16K.STB
- [SYS\$LDR]SHELL32K.STB
- [SYS\$LDR]SHELL64K.STB
- [SYS\$LDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXE]SHUTDOWN.COM
- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYS\$LDR]SWISS\$DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER\_MON.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$CMDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$CTDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$DNDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$DQDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB

- [SYSS\$LDR]SYSS\$FGEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$GHDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$GSPDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$HIDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$HUBDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IKUDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IKXDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IMUDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$KBDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LASTDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYSS\$LIB\_C.TLB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LLDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$MKDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$OHCIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PGADRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PGQDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PKDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PKMDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PKRDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PKWDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$SHDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$SRDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYSS\$STARLET\_C.TLB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$UGDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$UHCIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$USBDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$VLANDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$VM.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.STB
- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.STB
- [SYSUPD]SYS\_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXE]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL\_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050\_SHADOW\_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE\_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0200\_COVER.TXT
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0500\_COVER.TXT
- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL\_LANGUAGE.COM
- [SYSEXE]VMS\_BCFG.EFI
- [SYSEXE]VMS\_LOADER.EFI
- [SYSEXE]VMS\_SET.EFI
- [SYSEXE]VMS\_SHOW.EFI